工事計画変更認可申請書 (女川原子力発電所第2号機の工事の計画の変更)

東北電原設第9号

令和5年3月6日

原子力規制委員会 殿

経済産業大臣

西村 康稔 殿

仙台市青葉区本町一丁目7番1号 東北電力株式会社 取締役社長 社長執行役員 樋口 康二郎

電気事業法第47条第2項の規定により別紙工事計画書のとおり工事の 計画の変更の認可を受けたいので申請します。 別 紙

目 次

- I 工事計画書
- Ⅱ 工事工程表
- Ⅲ 変更を必要とする理由を記載した書類
- Ⅳ 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第2項の認 可の申請をした年月日を記載した書類
- V 添付書類

I 工事計画書

I 工事計画

- 一 発電所
 - 1. 発電所の名称及び位置
 - 名 称 女川原子力発電所
 - 所 在 地 宮城県牡鹿郡女川町及び石巻市
 - 2. 発電所の出力及び周波数
 - 出力
 1650000kW
 第2号機 825000kW (今回申請分)
 第3号機 825000kW
 周波数 50Hz

2.9 原子炉冷却材浄化設備

2.9.1 原子炉冷却材浄化系

(5) 主配管

	(5) 土配官	-	本 百 兰									कं च	44.						
			変更前		ГГ				 			変更						1	
	名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料		名	称	圧	馬使用 力 MPa)		度	外	径*1 (mm)	厚 (さ*2 mm)	材	料
	*3 原子炉圧力容器			60.5 *6 60.5 60.5	(8.7) *6 (8.7) (8.7)	STS410*5 *6 STS410*5	_												
	~ 原子炉冷却材浄化系再生熱交 換器入口配管合流点	8.62 *4	302	60. 5 60. 5 87. 1	(8.7) (8.7) (8.7) $*^{7}(8.7)$ $*^{7}(22.0)$	STS410*5 SFVC2B SFVC2B	_						なし						
	*8 G31-F001 ~ 原子炉格納容器配管貫通部 (X-50)	8.62 *4	302	216. 3	(15. 1)	STS42						変更	なし						
原子炉冷却材浄化系	*8 原子炉格納容器配管貫通部 (X-50) ~ 原子炉冷却材浄化系再生熱交 換器	8.83 *4	302	216.3	(18. 2)	*5 STS42 STS410	原子炉					変更	なし						
材浄	原子炉冷却材浄化系再生熱交 換器連絡管(管側)	8.83 *4	302	216.3	(18.2)	STS42	冷却材浄化系					変更	なし						
化系	原子炉冷却材浄化系再生熱交 換器 ~	8.83 *4	302	216.3	(18.2)	STS42	化系					変更	なし						
	原子炉冷却材浄化系非再生熱 交換器			139.8	(12.7)	STS42													
	原子炉冷却材浄化系非再生熱 交換器連絡管	8.83 *4	302	139.8	(12.7)	STS42 *5						変更	なし						
	原子炉冷却材浄化系非再生熱 交換器	8.83 * ⁴	66	139.8	(12.7)	*5 STS42 STS410 *5						変更	なし						
	~ 原子炉冷却材浄化系ポンプ			216.3	(18. 2)	*3 STS42 STS410 *5													
	原子炉冷却材浄化系ポンプ~	10. 20 *4	66	139.8	(12.7)	*5 STS42 STS410 *5						変更	なし						
	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩 器			216.3	(18.2)	*5 STS42 STS410						~~							

			変更前							変更後			
	名称	最 高 使 用 圧 力	最 高 使 用 温 度	外 径*1	厚さ	^{5*2} 材料		名称	最 高 使 用 圧 力	最 高 使 用 温 度	外 径*1	厚 さ*2	材 料
		(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)				(MPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩 器 ~ 原子炉冷却材浄化系再生熱交	10. 20 *4	66	139.8	(12.7)	*5 STS42 STS410				変更なし			
	成于 // 市 4 / / 市 4 / 市 4 / 元 赤 丹 土 然 文 換器			216.3	(18.2)	c) STS42							
	原子炉冷却材浄化系再生熱交 換器連絡管(胴側)	10. 20 *4	302	216.3	(18.2)	e) STS42				変更なし			
	* ⁹ 原子炉冷却材浄化系再生熱交 換器 ~ G31-F022	10. 20 *4	302	216. 3	(18.2)	*5 STS42 STS410				変更なし			
原子炉冷却材浄化系	* ⁹ G31-F022 ~ 高圧代替注水系注入配管合流 点	8.62 *4	302	216. 3 216. 3 / 216. 3 / 216. 3 216. 3 / 216. 4 / 216. 4 / / 216. 4 / 216. 4 / / / / / / / / / / / / /	(18. 2) (18. 2) (14. 3) (14. 3)	x) STS42 *6 *6 STS42 *6 x) STS42 x) STS42 x) STS42 x) STS42 x) STS42 x) STS42	原子炉冷却材浄化系	631-F022 ~ 高圧代替注水系注入配管合 流点	*13 8. 62	*13	変更なし * ^{12,*1} 165.2	3 *12, *13 (14. 3)	*12, *13 STS410
	*9 高圧代替注水系注入配管合流 点 ~ 原子炉冷却材浄化系A系注入			_				*10 高圧代替注水系注入配管合 流点 ~ 原子炉冷却材浄化系A系注	8.62	302	165. 2 165. 2 165. 2 165. 2 / 165. 2 / 165. 2 / 165. 2	(14. 3) $(14. 3)$ $(14. 3)$ $(14. 3)$ $(14. 3)$ $(14. 3)$ $(14. 3)$ $(14. 3)$	S1S410 SFVC2B STS410 STS410
1	配管合流点	8.62 *4	302	165.2	(14.3)	s) STS410*5		入配管合流点		1	変更なし		
				_					* ¹³ 8.62	* ¹³ 302	*12, *1 165. 2	3 *12, *13 (14. 3)	*12, *13 STS410

			:	変更前							変更後				
	名	称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料		名称	最高使用 圧 力 (MPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材	料
原子	原子炉冷却材浄化 換器(胴側)出口配 ~ 原子炉隔離時冷却 合流点	管分岐点	8. 62 *4	302	216. 3 / 165. 2 165. 2	(18. 2) / (14. 3) (14. 3)	STS42 STS410* ⁵	原子			変更なし				
,炉冷却材浄化系	原子炉隔離時冷却 合流点 ~ 原子炉冷却材浄化 配管合流点		8.62 *4	302	165. 2 165. 2 / 165. 2 / 114. 3 *6 165. 2	*7(14.3) (14.3) (14.3) (14.3) (14.3) (11.1) *6 (14.3)	SFVC2B STS410*5 STS42 *6 STS410*5	炉冷却材浄化系	*11 原子炉隔離時冷却系注入配 管合流点 ~ 原子炉冷却材浄化系B系注 入配管合流点			変更なし			

注記*1:外径は公称値を示す。

*2 : () 内は公称値を示す

*3:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉圧力容器から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管まで」と記載。

*4 : S I 単位に換算したものである。

*5 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。

*6 :エルボを示す。既工事計画書にはエルボを含めた管仕様を記載しているため、記載の適正化を行う。

*7:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成3年6月19日付け3資庁第1003号にて認可された工事計画の添付書類「Ⅳ-2-1-2-4-1 管の基本板厚計算書」による。

*8 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉再循環系から原子炉冷却材浄化系再生熱交換器まで(原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口配管)」と記載。

*9 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉冷却材浄化系再生熱交換器及び原子炉隔離時冷却系から復水給水系まで」と記載。

*10:非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(高圧代替注水系)及び原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備の原子炉格納容器安全設備(高圧代替注水系)と兼用。(核原料物質,核燃料物質及び原子 炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。)

*11:非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備(原子炉隔離時冷却系)と兼用。(核原料物質,核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。)

*12:エルボを示す。

*13: 電気事業法の規定に基づき、本工事計画変更認可申請書において手続きを実施するもの。

02

ホ 主配管

	小土配官		変更前							変更後				
	名称	最高使用 圧 力	最高使用 温 度	外 径*1	厚 さ* ²	材 料		名称	圧 力		外 径*1	厚 さ ^{*2}	材	料
-		(kPa)	(°C)	(mm)	(mm)				(kPa)	(°C)	(mm)	(mm)		
	* ³ ~ T48-F002出口側合流点	427 ^{*4}	171	609. 6 / 609. 6 / 457. 2 609. 6 *6 609. 6 / 609. 6 / 609. 6 / 609. 6	$ \begin{array}{c} *^{5} (9.5) \\ *^{5} (9.5) \\ *^{5} (9.5) \\ *^{5} (9.5) \\ *^{5} (9.5) \\ *^{5} (9.5) \\ *^{5} (9.5) \\ *^{5} (9.5) \\ *^{5} (9.5) \\ \end{array} $	SM41C SM41C *6 SM41C SM41C SM41C				変更なし				
	*3			61.1 ^{*7}	(6.1) *7	S25C		*8						
	T48-F002出口側合流点	427 *4	171					T48-F002出口側合流点 ~	変更なし	変更なし		変更なし		
原子炉	原子炉格納容器配管貫通部 (X-80)	121	171	609.6	*5 (9.5)	SM41C	原 子炉	原子炉格納容器配管貫通部 (X−80)	854 ^{*9}	200*9		ZX'4U		
原子炉格納容器調気系			171	609.6	*5 (9.5)	SM41C *6	原子炉格納容器調気系					変更なし		
器調				609.6 609.6	(9.5)	SM41C SM41C	器調				変更なし	(31.0)	SM4	000
気	*10		-	609.6	* ⁵ (9.5)	5M410	氣				友文なし	(31.0) (31.0)	5144	:000
术	ドライウェル入口配管分岐点 ~	427 *4		/			术	ドライウェル入口配管分岐点 ~	変更	〔なし		/		
	サプレッションチェンバ		104	609. 6 /	*5 (9.5)	SM41C		サプレッションチェンバ			変更なし	(31.0)	SM4	:00C
				609.6	*5 (9.5) *6	*6					*11	(31.0)		*11
				609.6	*5 (9.5)	SM41C					変更なし	(31.0)	SM4	
	* ¹² 原子炉建屋内 ~ サプレッションチェンバ入口 配管合流点1	427 * ⁴	104	609.6	*5 (9.5)	SM41C				変更なし				
	*12	427 *4	104	609.6	* ⁵ (9.5)	SM41C					変更なし			
	原子炉建屋内 ~		I	_		<u> </u>		原子炉建屋内 ~	427	104	609.6	(31.0)	SM4	.00C
	サプレッションチェンバ入口 配管合流点2	427 *4	104	61.1*7	(6.1) *7	S25C		サプレッションチェンバ入口 配管合流点2		1	変更なし			

			変更前							変更後			
	名称	最高使用 圧 力	最高使用 温 度	外 径*1	厚 さ*2	材 料		名称	最高使用 圧 力	最高使用 温 度	外 径*1	厚 さ*2	材 料
	*13	(kPa)	(°C)	(mm)	(mm)				(kPa)	(°C)	(mm)	(mm)	
	* ¹³ T48-F016 ~ ドライウェル入口配管合流点	427 *4	171	457. 2 * ⁶ 457. 2	$ \begin{array}{c} *^{5} (9.5) \\ *^{5} (9.5) \end{array} $	*14 SM400C *6, *14 SM400C				変更なし			
				60.5	(5.5)	STS42					変更なし	変更なし	変更なし STS410
	*15 T48-F010			61. 1*7 61. 1*7 61. 1*7 61. 1*7	$(6.1) *^{7}$ $(6.1) *^{7}$ $(6.1) *^{7}$	S25C					60. 5 60. 5 60. 5 60. 5	(5.5) (5.5) (5.5)	STS410
	~ 748-F011入口側合流点	427 *4	171	61. 1*7 / 61. 1*7 /	$(6.1) *^{7} \\ (6.1) *^{7} \\ (6.1) *^{7} \\ -$	S25C		変更なし	変更	なし	60. 5 / 60. 5 /	(5. 5) (5. 5) (5. 5)	STS410
原子				*7, *11 61.1	*7, *11 (6.1)	*11 S25C	原子				*11	(5.5)	*11 STS410
原子炉格納容器調気系	* ¹⁵ T48-F011入口側合流点 ~			_			原子炉格納容器調気系	*8 T48-F011入口側合流点 ~	427 854* ⁹	171 200* ⁹	60. 5 60. 5 60. 5	(5.5) (5.5) (5.5)	STS410
気系	T48-F002出口側合流点	427 *4	171	60.5 *7, *11 61.1	(5.5) *7, *11 (6.1)	STS42 *11 S25C	気系	T48-F002出口側合流点	変更なし 854 ^{*9}	変更なし 200 ^{*9}	変更なし * ¹¹ 60.5	変更なし * ¹¹ (5.5)	STS410 *11 STS410
	*16		171	60.5	(5.5)	STS42					変更なし	変更なし	STS410
	ドライウェル補給用窒素配 管分岐点	407 *4		60.5	(5.5)	STS42		亦再ない	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , 	[+s]	変更なし	変更なし	STS410
	~ 原子炉建屋内吸入配管合流 点	427 *4	104	*7, *11 61.1	*7, *11 (6.1)	*11 S25C		変更なし	发史	[なし	*11 60.5	*11 (5.5)	*11 STS410
	* ¹⁷ 原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ~ ドライウェル出口配管分岐点	427 *4	171	609.6 *6 609.6 / 609.6 / 609.6	$ \begin{array}{c} *^{5} (9.5) \\ $	*14 SM400C *6, *14 SM400C *14 SM400C		*18 原子炉格納容器配管貫通部 (X-81) ~ ドライウェル出口配管分岐点	変更なし 854 ^{*9}	変更なし 200 ^{*9}		変更なし	

			変更前									変更後			
	名 称	最高使用 圧 力 (kPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 (mm	さ*2 n)	材 料		名	称	最高使用 圧 力 (kPa)	最高使用 温 度 (℃)	外 径*1 (mm)	厚 さ*2 (mm)	材 料
	* ^{*17} ドライウェル出口配管分岐 点 ~ T48-F046	427 * ⁴	171	609.6	*5 ((9.5)	*14 SM400C					変更なし			
		427 * ⁴	104	*6		*6 (9.5) (9.5)	*6 SM41C				変更なし 854 ^{*9}	変更なし 200 ^{*9}	変更なし * ¹¹	(31.0) *11	SM400C *11
				609. 6 609. 6		(9.5)	SM41C *14 SM41C SM400C						変更なし 609.6	(31.0) (31.0) 変更なし	SM400C SM400C *27
原子炉格納容器調気系	*19 原子炉格納容器配管貫通部 (X-230)			*6	*5 (*6 (9.5)	*6, *14 SM41C SM400C	原子炉格納容器	原子炉格納容器配 ⁴ (X-230)	* ¹⁸ 弯貫通部			*11 609.6 変更;	*11 (17.5) *27	*11 SM400C *6, *14, *27 SM400C
容器調気系	~ ドライウェル出口配管分岐点	427 *4	171	609.6 *20	(17.	* ⁵ 5)	*14 SM400C	容器調気系	~ ドライウェル出口費	配管分岐点	変更なし 854 ^{*9}	変更なし 200 ^{*9}			
				609. 6 609. 6 609. 6	(9	9. 5) 9. 5)	*20 SM400C							変更なし	
				_							427 854* ⁹	171 200*9	*27 609.6	*27	STS410
	* ²¹ サプレッションチェンバ出 口配管分岐点1 ~	427 * ⁴	171	318.5 318.5	(10.	3)	*14 SM400C *22 STS410					変更なし			
	T48-F045			*6 318.5	(10.	*6 3)	*6, *22 STS410								

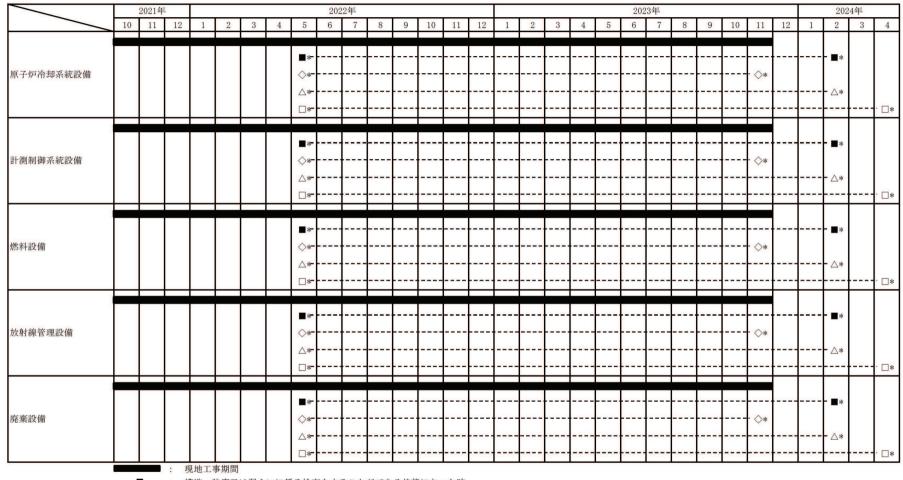
			変更前						変更後
	名称	最高使用 圧 力	最高使用 温 度	外 径*1	厚 さ*2	材 料		名	最高使用 最高使用 从 经*1 厘 ±*2
		(kPa)	(°C)	(mm)	(mm)				(kPa) (°C) (mm) (mm)
	液体窒素貯槽 ~	1.87 *4 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS304TP			変更なし*23
	パージ用液体窒素蒸発器	1.77 *4 (MPa)	66	76.3	(5.2)	SUS304TP			
				76.3	(5.2)	SUS304TP			
	パージ用液体窒素蒸発器	1.77 *4	66	165.2	(7.1)	SUS304TP			変更なし*23
		(MPa)		34.0	(3.4)	SUS304TP			
		1.77 *4		216.3	(8.2)	SUS304TP			
		(MPa)	66	216.3 89.1	(8.2) (5.5)	SUS304TP SUS304TP			
		() () () () () () () () () () () () () (89.1	(5.5)	SUS304TP			
	*13	0.86 *4		216.3	(8.2)	SUS304TP			
	パージ用液体窒素蒸発器 ~	(MPa)	66	216.3	(8.2)	*24 STPT370			変更なし ^{*23}
	T48-F016	427 *4	66	457.2	* ⁵ (9.5)	*14 SM400C			
E		421	00	457.2	(14.3)	*14 SM400C	Б		
原子炉格:	*25 液体窒素貯槽出口配管分岐点 ~	1.77 *4	66	60.5	(5.5)	SUS304TP	原子炉格納容器		変更なし ^{*23}
炉格納容器調気系	常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用)	(MPa)		34.0	(4.5)	SUS304TP	納容器		
調気系	常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用)	1.77 *4 (MPa)	66	80.0 60.0 31.0 31.0	$ \begin{array}{c} *^{5} & (6, 0) \\ *^{5} & (4, 0) \\ *^{5} & (3, 0) \\ *^{5} & (3, 2) \end{array} $	A6063TE A6063TE A6063S A6063TE	調気系		変更なし ^{*23}
				34.0	(4.5)	SUS304TP			
				60.5	(5.5)	SUS304TP			
	*15	1.77 *4 (MPa)	66	60.5	(5.5)	* 26 STPL380			
	常時補給用液体窒素蒸発器 (送ガス用)			60.5	(5.5)	*24 STPT370			変更なし*23
	~ T48-F010	427 ^{*4}	66	60.5	(5.5)	*24 STPT38 STPT370			
				21.7	(3.7)	*24 STPT370			
	*20 常時補給用液体窒素蒸発器出 口配管分岐点 ~	1.77 *4 (MPa)	66	60.5	(5.5)	*24 STPT370			変更なし ^{*23}
	T48-F030								

- 注記*1:外径は公称値を示す。
 - *2 :()内は公称値を示す。
 - *3 :記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋原子炉棟換気空調系からドライウェルまで(ドライウェル入口配管)」と記載。
 - *4 : S I 単位に換算したものである。
 - *5 :既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は、平成3年6月19日付け3資庁第1003号にて認可された工事計画の添付書類「IV-2-2-2-2-1 管の基本板厚計算書」による。
 - *6 : エルボを示す。既工事計画書にはエルボを含めた管仕様を記載しているため、記載の適正化を行う。
 - *7 : 差込継手の差込部内径及び最小厚さ。
 - *8:原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系)並びに圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備(可搬型窒 素ガス供給系,原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)と兼用。(核燃料物質,核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規 定による工事計画の記載。)
 - *9 :重大事故等時の使用時の値。(核燃料物質,核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定による工事計画の記載。)
 - *10:記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェル入口配管からサプレッションチェンバまで(サプレッションチェンバ入口配管)」と記載。
 - *11:エルボを示す。
 - *12:記載の適正化を行う。既工事計画書には「原子炉建屋内からサプレッションチェンバ入口配管まで(原子炉建屋内吸入配管)」と記載。
 - *13:記載の適正化を行う。既工事計画書には「パージ用液体窒素蒸発器からドライウェル入口配管まで」と記載。
 - *14:記載の適正化を行う。既工事計画書には「SM41C」と記載。
 - *15:記載の適正化を行う。既工事計画書には「常時補給用液体窒素蒸発器からドライウェル入口配管まで(ドライウェル補給用窒素配管)」と記載。
 - *16:記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェル補給用窒素配管から原子炉建屋内吸入配管まで」と記載。
 - *17:記載の適正化を行う。既工事計画書には「ドライウェルから原子炉建屋原子炉棟換気空調系まで(ドライウェル出口配管)」と記載。
 - *18:原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備(原子炉格納容器フィルタベント系,耐圧強化ベント系)並びに圧力低減設備その他の安全設備の放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再 循環設備(原子炉格納容器フィルタベント系)及び圧力低減設備その他の安全設備の圧力逃がし装置(原子炉格納容器フィルタベント系)と兼用。(核燃料物質,核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律の規定に よる工事計画の記載。)
 - *19:記載の適正化を行う。既工事計画書には「サプレッションチェンバからドライウェル出口配管まで(サプレッションチェンバ出口配管)」と記載。
 - *20:既工事計画書に記載がないため記載の適正化を行う。記載内容は,設計図書による。
- *21:記載の適正化を行う。既工事計画書には「サプレッションチェンバ出口配管から非常用ガス処理系まで」と記載。
- *22:記載の適正化を行う。既工事計画書には「STS42」と記載。
- *23:本設備は記載の適正化を行うものであり、手続き対象外である。
- *24:記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPT38」と記載。
- *25:記載の適正化を行う。既工事計画書には「液体窒素貯槽出口配管から常時補給用液体窒素蒸発器(送ガス用)まで」と記載。
- *26:記載の適正化を行う。既工事計画書には「STPL39」と記載。
- *27:電気事業法の規定に基づき、本工事計画変更認可申請書において手続きを実施するもの。

0

Ⅱ 工事工程表





■ : 構造, 強度又は漏えいに係る検査をすることができる状態になった時

◇ : 原子炉に燃料を装入することができる状態になった時

△ : 原子炉の臨界反応操作を開始することができる状態になった時

□ : 工事の計画に係る全ての工事が完了した時

注記* : 検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。



△ : 原子炉の臨界反応操作を開始することができる状態になった時

□ : 工事の計画に係る全ての工事が完了した時

注記* : 検査時期は、工事の計画の進捗により変更となる可能性がある。

Ⅲ 変更を必要とする理由を記載した書類

- Ⅲ 変更を必要とする理由を記載した書類
- (1)原子炉冷却材浄化系 主配管(G31-F022~高圧代替注水系注入配管合流点)(高圧代替注水 系注入配管合流点~原子炉冷却材浄化系 A 系注入配管合流点)について,設計進捗により配 管の一部を曲げ管からエルボ材に変更する。
- (2)原子炉格納容器調気系 主配管(原子炉格納容器配管貫通部(X-230)~ドライウェル出口 配管分岐点)について,設計進捗によりJIS規格外ティー継手に変更する。また,既設配管 の一部を肉厚化した配管に変更する。

上記(1)~(2)の変更を反映した内容を参考資料に示す。

Ⅳ 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3 の9第2項の認可の申請をした年月日を記載した書類 IV 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条の3の9第2項の認可の申請 をした年月日を記載した書類

当該事業用電気工作物に係る核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第43条 の3の9第2項の認可の申請をした年月日は以下の通り。

女川原子力発電所第2号機

設計及び工事計画認可申請番号

東北電原設第8号(令和5年3月6日)

V 添付書類

V 添付書類

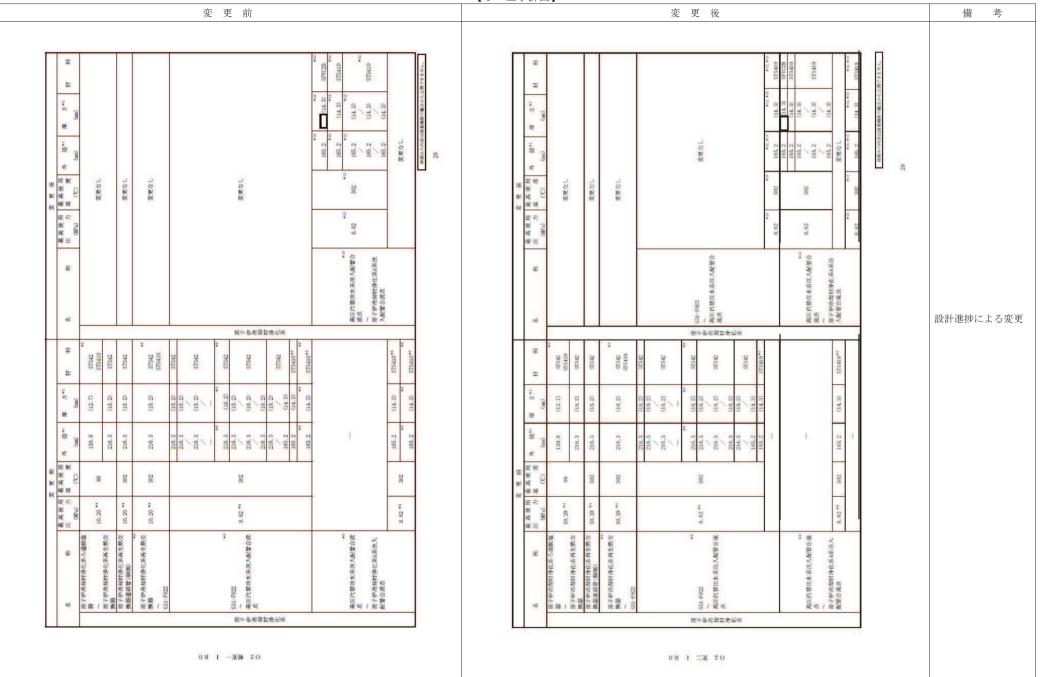
「原子力発電工作物の保安に関する省令第15条第1号の規定に基づく指示について」(平成 25年7月8日原規技発第1307081号・20130628商第22号)により,原子力規制委員会及 び経済産業大臣から添付することを要しない旨指示のあった以下の添付書類については,添付 を省略する。

省略した添付書類

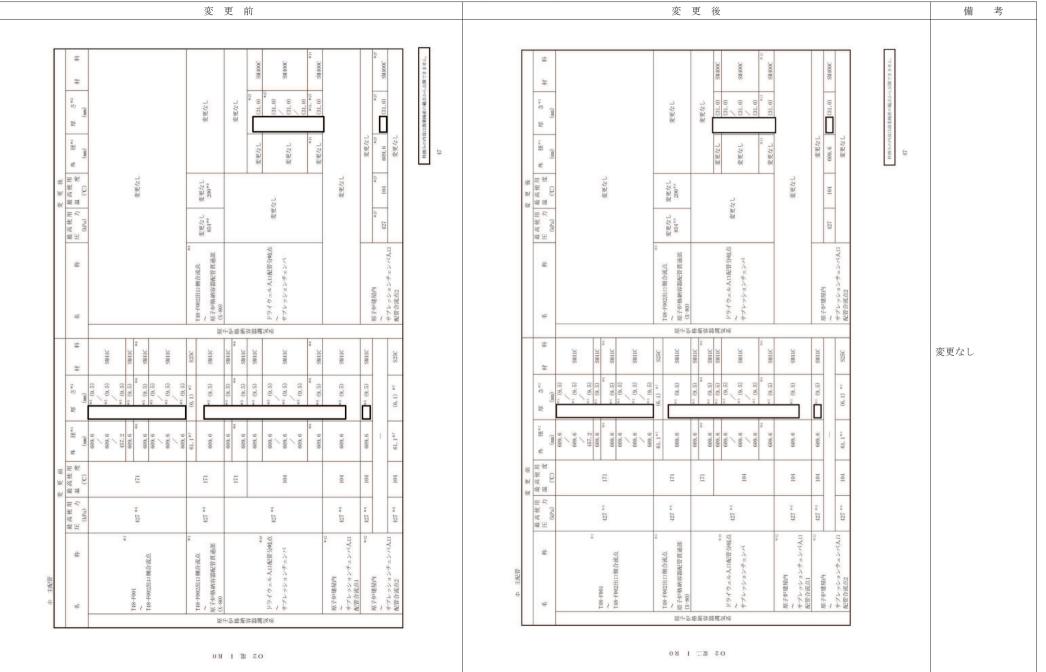
- ・設備別記載事項の設定値根拠に関する説明書
- ・安全設備が使用される条件の下における健全性に関する説明書
- ・原子炉冷却系統設備に係る機器の配置を明示した図面及び系統図
- ・耐震性に関する説明書
- ・強度に関する説明書
- ・構造図
- ・品質保証に関する説明書
- ・原子炉格納施設に係る機器の配置を明示した図面及び系統図
- ・原子炉格納施設の設計条件に関する説明書

参考資料

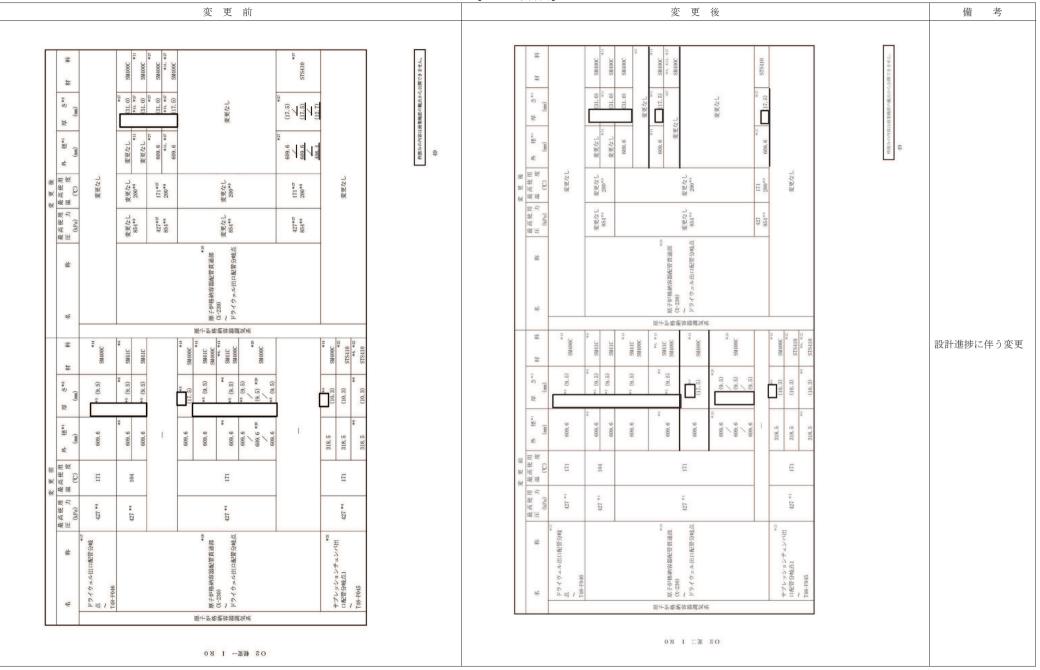
		変勇	更 前							·尹可					変	更後									備	
<u>変更後</u> 株 正 3. (00%) 1. (0%	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	変更なし	and the state of t	N N N N	現在なし、		张贤贤帝 秦商兼臣 陳亮侯田 岑 張士 蔣 立 ¹⁵ 开 车	(m) (m) (C) (m)	変更なし		変更なし	変更なし	変更なし	黎明公 儿		東男なし	変更なし		変更なし	23 第四日・20日日前御道園で周辺ららら日開で来来す。		
			原子炉治却;	(林帝化	No.						49	_				膨牛長炮	東本先の	214F							変更なし	
村 称 STS410 ^{4.5}	srS410 ⁴³ STS410 ⁴³ SFVC28 SFVC28 SFVC28	STS42	ss STS42 STS410	STS42	STSA2	STS42	stS42 STS410 STS410	*5 STS42 STS410 *5	STS42 STS410 *5 STS42 STS42 STS410	Î	14 14	SH0*	STSH 0*4 STSH 0*5	SFVC2B SFVC2B	STS42	*1 87542 875410	STSA2	ST\$42	STS42	\$1542 *1 \$1542	STSA10 ** STSA2	STS410 *1	STS410 \$1542 \$1542 \$15410			
yr & 3+2 (mm) (8, 7) =6	(8, 7) (8, 7) (8, 7) (8, 7) (8, 7) (8, 7) = (8, 7) =	(15,1)	(18.2)	(18.2)	(18.2)	(12.7)	(12.7)	(18.2)	(12.7) (18.2)		厚 き*3	(mn) (8.7) +0	(8.7) (8.7) (8.7)	*7 (8, 7) *7 (22, 0)	(15, 1)	(18, 2)	(18.2)	(18.2)	(12.7)	(12.7)	(18.2)	(12.7)	(18.2)			
外 記(*) (mn) 60, 5	60.5 60.5 60.5 60.5 60.5 87.1	216.3	216.3	216.3	216.3	139.8	139.8	216.3	139.8		外 径*:		80.5 80.5 80.5	60.6 87,1	216.3	216.3	216.3	216.3	139.8	139.8	216.3	139.8	216.3			
。更前 最高使用 (C)	302	302	302	302	302	302		3	99		東 前 最高使用 道 度	(C)	206		302	302	302	302		302.	98		98			
変更単	8.62 °+	8, 62 *1	8, 83 *4	8.83 *1	8, 83 ^{a i}	8, 83 *1	10 00 0	8, 83 9	10.20 **		変 更 前 最高使用 最高使用 任 力 違 度	(MP8)	8, 62 *1		8.62 *1	8.83 **	8, 83 *1	8.83 *4		8, 83 *1	8.83 *1		10.20 **			
2.9 原子的角柱舟化20桶 2.9.1 原子的角柱舟化系 (5) 白色管 名 作	25 成子伊旺力發出 一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	631-F001 (X-50) (X-50) ***	原子炉格4 (X-50) 一 原子炉治4 機器	展示4000年1月1日。 原品連續管(管側)	原子师治却材浄化系再生熟交 機器 一 原子炉治却材浄化系非再生熟	*	交換器連給管 原子师治却材浄化系非再生熟 交換器	、 原子炉冷却材浄化系ポンプ	原子炉冷却抹浄化系ボンプ 一 原子炉冷却抹浄化系の過数塩 器	2.9.1 原子炉治组材净化系 (5) 主配管	8 4		47 原子即任力容器 応子即告知特化系再生熟交 機器入口配管合流点	*	631-F001 ~ (X-20) (X-20)	** 原子伊格納容器配管黄通油 (X-50) 二 元子印合基材涂化系再生熟交	機器 原子如音域材浄化系再生熱交 機器連絡管(管肌)	原子即合身材浄化系再生熟交 機器 ()	原子 师治 基材净化 系非再生熟 交換器 四子 而治 和社 % 中 率 非 准 生 執	交換器連續管原子更治其封浄化系非再生熟	交換器 ~ 原子 炉冷却材浄化系ボンプ	原子師治基材浄化系ボンプ	~ 原子师治母材浄化系ろ過脱塩 器			
el			副中級結束 副 70	社会化	厥					, L		_			0 X	1 二革 20		244						1		



変更前 変更後	12610	備考
	DRAFFICIERIN REMOVEMENT REMOVEMENT REMOVEMENT REMOVEMENT REMOVEMENT REMOVEMENT REMOVEMENT REMOVEMENT REMOVEMENT	設計進捗による変更



変更	ī 前	変更後	備考
接	*12 (5,5) *12 *12 *12 *12 *12 *12 *12 *12 *12 *12	м ж к м m	
*	なな 148-P01 148-P01 118-P00 (X-81) ドライウ		
特 (1) 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 1	Walking Walkin	本 本 本 本 25266 *********************************	変更なし
$\begin{array}{c} \eta_{ij} & \stackrel{\sim}{\to} *^{+2} & \eta_{ij} \\ (mn) & \stackrel{\sim}{\to} (1, 5) & \\ & \stackrel{\circ}{\to} (1, 5) & \\ & \stackrel{\circ}{\to} (1, 5) & \\ & \stackrel{\circ}{\to} (2, 5) & \\ & $	-1, -11 -1, -1, -11 -1, -11 -1	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	
% f6** (mm) 457.2 457.2 61.1** 61.1** 61.1** 61.1** 61.1** 61.1** 61.1**	00. 5 **. *1 61. 1 60. 5 61. 1 61. 1	A BE *1 (mm) 457.2 457.2 *** 457.2 *** 457.2 *** 60.5 60.5 61.1 ** 61.1 ** 61.1 ** 61.1 ** 60.5 600.6 60.5 600.6 60.6 600.6 60.6 600.6 600.6 600.6 600.6 600.6	
融新使用 題(CC) (C) 171 171	121	<u>変態</u> (CC) (CC) (CC) (CC) (CC) (CC) (CC) (CC	
義高能用 1 用 (APA) 1 (AP	** 22) ** 22)	(427 ***) 427 *** 427 *** 427 *** 427 *** 427 *** 171 427 *** 171 1	
本 本 118-F016 ドライウェール入口配管合成点 ドライウェール入口配管合成点 118-F010 118-F010 118-F010 118-F010	(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	名 (148-F0016) 「148-F0016 (148-F0016) 「2-4-F0016 (148-F0016) 「2-4-F0010 (148-F0011, 118-F0011,	
		置いても分析論である言を立ち	



【1 丁事計画】

										変	更	刵																							2	发 .	更	俊											_	備	
a 唐	(kPa) (C) (mm) (mm)	変更なし* 3		変更なし* ≈1				変更なし *2				変更なし。言		ta 1971 sta					変更なし。2日				後更なし。日	90		皮 叉 後	名 新 新 新 M M M M M M M M M M M M M M M M	(mm)	変生なし。	The statement	変更なし。2			変更なし。20			and the second	※ <u>兄</u> なし	参型26 Less				変更なし。			80.年人上。40 19	R.N.A.C.	INTRA-OPERIA MARTON MARTON ALLACE A R. R. A.			
	1	~ .					p.		4 1 4	11	-	~ 在 在 後					9.76	#24	101		e.21						英							10.4	814	1			尾汉咲		0.0.0	12.0	124		104	12.0					
#		SUS304TP	SUS304TP	SUS304TP SUS304TP	SUS304TI SUS304TI	SUS304TI SUS304TE	SUS304TI	STPT370	SM400C	SM400C	SUS304TP	on on other	SUS3041	A6063TE A6063TE	A6063S A6063TE	SUS304TI SUS304TI		STPL380	STPT370	STPT38	CTUTOTO		STPT370				44 ¥	SUS304TP	SUS304TP	SUS304TF	SUS304TP SUS304TP	SUS304TF SUS304TF	SUS304TF SUS304TF	STPT370	* SM100C	* SM400C	SUS304TP	SUS304TP	A6063TE A6063TE	A6063S A6063TE	SUS304TI SUS304TI	STPL380	STPT370	STPT38 STPT370	STPT370		STPT370			変更なし	
厚 き*3	(mm)	(5.2) (5.0)	(5.2)	(7.1) (3.4)	(8.2) (8.2)	(5.5) (5.5)	(8.2)	(8.2)	*5 (9.5)	(14.3)	(5,5)	12.17	(4. 9)	** (6.0)	*6 (3.2)	(4.5) (5.5)	(5.5)	(c c)	10:01	(5.5)	(3.7)		(5.5)				四 4*2 ()	(mm) (5.2)	(5.2)	(5.2) (7.1)	(3.4) (8.2)	(8.2) (5.5)	(5.5) (8.2)	(8.2)	^{a5} (9.5)	(14.3)	(5.5)	(4.5)	*3 (6.0) *3 (4.0)	*5 (3, 2)	(4, 5) (5, 5) (c, c)	(5.5)	(5, 5)	(5.5)	(3.7)	(5.5)	10-01				
*		76.3	76.3	165.2 34.0	216.3 216.3	89.1	216.3		457.2			0.00	34.0	80.0	31.0 31.0	34.0 60.5	60.5	en e	n	60.5	21.7		60.5				外 径=1	(mm) 76.3	76.3	76.3 165.2	34.0 216.3	216.3 89.1	216.3	216.3	457.2	457.2	60.5	34.0	80.0 60.0	31.0	34, 0 60, 5	60.5	60.5	60.5	21.7	60.5	a				
是一次	(C)	99	80	99		99	99			99		99		99			99			00	8		66			6 更 前	最高使用 温 废	(C) 99	99		99	99	50	00	20	B		00	99		00	99		99	8	99					
 	(kPa) 1 87 *1	1. 87 *1 (MPa) 1. 77 *1	(MPa)	1.77 *1 (MPa)	1.77 *1	(MPa)	0.86 *1 (MPat)	(Mra)		427 *1		1.77 *** (MPa)		1. 77 **	(MPa)		1. 77 **	(edw)		10.00	174		(MPa)			20	最高使用 最高使用 圧 力 温 度 (tura) 2000	(kPa) 1.87 *4 (MPa)	1.77 *4 (MPa)	1.77 **	(Mpa)	1.77 ⁻⁰⁴ (MPa)	0.86 *1	(MPa)	10. 01	121	L. 77 *1	(MPa)	1.77 **	(MPa)	1.77 **	(MPa)		427*4	171	1.77 **	(WPa)				
名称目		液体電素店槽 ~	+	パージ用液体窒素蒸発器			*13	ハーン田政学党教派的協	T48-F016		*23	→ 一 常時補給用液体窒素蒸発器	(送ガス用)	常時補給用液体塗素蒸発器	(送ガス用)		1	常時補給用液体窒素蒸発器	(送ガス用)	T48-F010		*20 常時補給用液体常素蒸発器出	口配管分岐点 ~ 148-F030				名称日	液体窒素肪槽	、バージ用液体窒素蒸発器		バージ用液体窒素蒸発器		*13	パージ用液体窒素蒸発器	T48-F016		*25 被体室素貯槽出口配管分岐点	常時補給用液体塗素蒸発器 (送ガス用)	常時補給用液体塗素蒸発器	(送ガス用)		*15 常時補給用液体強素蒸発器	()	T48-F010		*22 常時補給用液体窒素蒸差器出 口配管分岐点					
											原子短	卷报()	中総會	[刘柔																						101	平炉林	新谷縣	麗汉咪]			

		【I 工事計画】	
10.1 To France Provide Control (1970) (2011)	変 更 前	変更後	備考
Пащан на н		<pre>Mid 1 i Mid 1 i M</pre>	設計進捗に伴う変更